

STYLE
BOOK



「一邸一邸 手しごとで」

- 稲垣建築事務所 -

創業 60 年を超える工務店は長岡市内でもごく少数。私たちのポリシーは、私たちのお手伝いする住まいを全て自社大工が心を込めてお創りすること。

住まい造りとはお客様との共同作業。
「造って差し上げる」のではなく
「一緒に創り上げる」ことだと思っています。

私たちは単なる箱（家）を造りません。

私たちがお手伝いするのは
「日々の暮らし」と「毎日の笑顔」を創ること。

耐震性

私たちが目指す耐震等級は2。
ちなみに耐震等級1は建築基準法を守っていることが条件。
耐震等級2は基準法の1.25倍。
耐震等級3は1.5倍の耐震性を求められます。

私たちがお手伝いする住まいは
全て許容力度計算と呼ばれる構造計算を実施します。
つまり強さの順で言えば上から2番目となります。

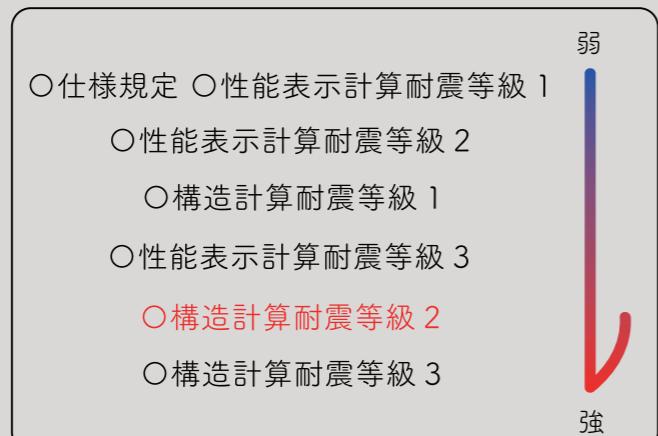
・・・え？耐震等級3(最高等級)じゃないの？
その理由をご説明します。

なぜ一番にしないのか？
その理由は雪です。
長岡市を中心としたこの地域に暮らすのであれば
雪は耐震上無視できません。

私たちのお手伝いする住まいは
雪の無い時期であれば耐震等級3を楽々クリアします。
でも、私たちは思うのです。
いつ来るかわからない地震に対しての備えは
常に「最悪の想定」をすべきだと。

私たちがお手伝いする住まいを許容力度計算に掛けるとき
屋根に2m(小千谷市以東は2.5m)の積雪がある状態を想定します。
積雪2mを考慮しても耐震等級3は絶対無理ではありません。
けれど現実的でもありません。

私たちは、積雪2m時の地震で耐震等級2。
積雪のない時期では楽々耐震等級3を標準としています。



断熱性

恐らく・・・お客様は断熱材がたくさん入っている住まいが欲しいわけではありません。
極端な言い方をすれば断熱性能の高い家が"いい家"というわけでもありません。
暖かく涼しい。そして冷暖房の消費エネルギーが少なくて済む家。
それは「毎日を笑顔」にするための手段です。

U値をご存知ですか？
U値とは材料そのものの熱貫流率。つまり熱の伝え"やすさ"です。
数値が小さいほど熱を伝えにくいということになります。

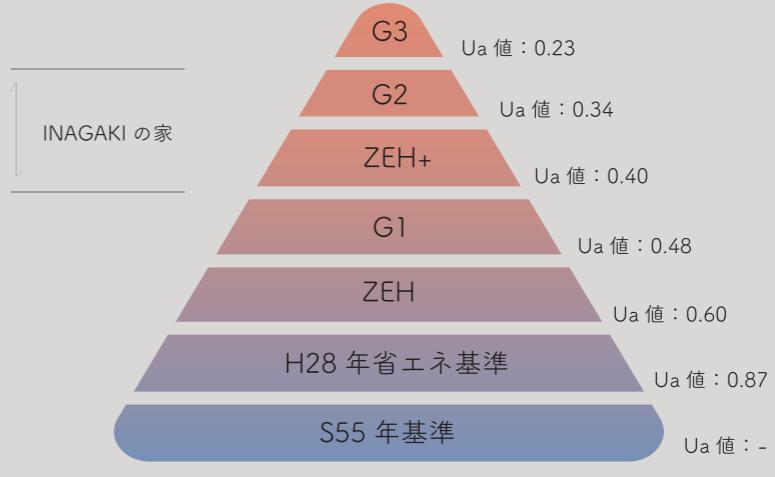
現在の国の基準ではこのU値と外皮(外壁・屋根・床)との面積比から
アベレージ(A:平均)を出すUA値と言う数字が
断熱基準として採用されています。

私たちが目指すのは上から2番目の断熱等級6。
UA値0.4前後です。
もちろん断熱等級7(最高等級)も可能ですが
全体のコストを計りながらバランスを確保します。

暑さ寒さを語るにはUA値だけでは済みません。
C値と言う「隙間相当面積」が重要です。

C値と言うのは実際に現場で計ります。
直近の現場ですとその数値は0.2~0.38の間に収まります
例えば、延べ床面積40坪(約132m²)の場合
C値が2.0なら隙間面積は264cm²(はがき約1.8枚相当)
C値が0.3なら隙間面積は40cm²(はがき約1/3枚相当)。
それ位隙間を無くします。

隙間を無くしてUA値をほどほど確保する事で
住まいが暖かく涼しい笑顔つくりの舞台となります。

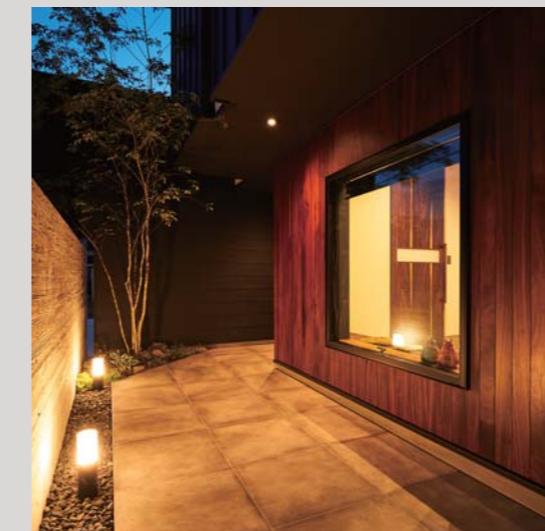




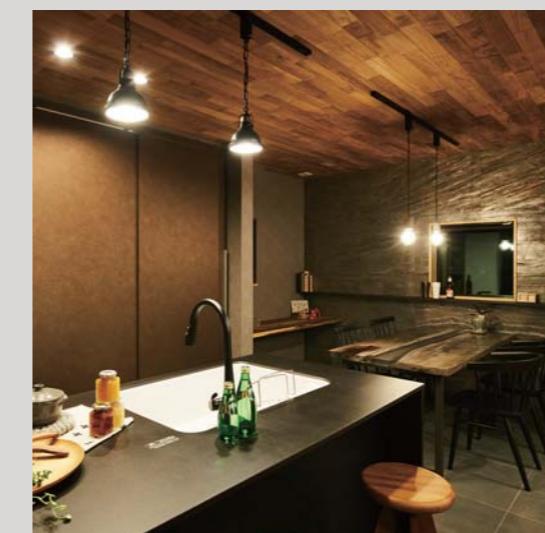
吹き抜けのリビングにはゼブラウッド・天然石などを使用し、重厚感のあるデザインに。高断熱・高気密で大空間でも快適な温熱環境を実現。



モノトーンのガルバリウム鋼板・RC・無垢異素材を組み合わせてデザインしています。



RCの壁には型枠の質感をあえて残して街灯や室内の光で陰影を生み出しています。



キッチン収納は可能な限り扉を隠してすっきりとした暮らしを可能に。無垢材・タイル・アイアンなどの素材のバランスが絶妙な配置。



玄関とリビングをつなぐ土間スペース。趣味の道具を飾ったり手入れをするときでも家族の気配を感じられます。



直線に配置されたダイニングキッチン。床はタイル、天井はチーク。テーブルは約3000年前の神代杉を使用しています。



白とグレーの外観に、玄関ポーチと一体になった広いテラス。木々が生い茂れば道路からの視線も遮られ、緑と風の中になる。



左/光と風、木の香りに包まれるテラス。左手の大開口の窓からはLDKとつながり正面の地窓から玄関に光を届けます。
右/キッチンにはアイアンと無垢材の吊収納カウンターを配置。テラスにもつながっています。



リビングダイニングの空間。床・TV裏・天井・キッチンとの仕切りにも異なる種類の木。床には有名なハイブランドのパリ本店でも使用されているクルパウを採用し、ラグジュアリーな空間に。

風のcorridor

MUKU | 床 : クルパウ
DATA | 天井: タガヤサン

心地いい風の中、木々に包まれて東山連峰を望んで立つ、間口の広い一軒家。白とグレーの外観にアクセントを添える木はほんのプロローグにすぎない。風の中にある室内は実に様々な木々に包まれ、ラグジュアリーな空気に満ちている。



直線でつながるリビング・ダイニング・キッチン。天井に張った細い木によって、奥行が生まれます。



左/スタイリッシュな小上がりの和室は収納などの実用性も兼ね備える。
右/階段を上がった先は大きな開口から柔らかな光が差す2階ホール。正面の壁は張り方を工夫したラワン合板。



木毛板の壁。壁紙とは違った雰囲気に。



左/シンプルな四角の外観はグレートーンでまとめ
幅の異なる素材でグリッドを組み合わせている。

右/玄関を入った正面の壁には赤松を配置。
左手の地窓からの光で時間ごとに表情を変える。



ひとつながりのLDKの床は信州産の赤松、右手の壁には木毛板を採用。
優しい外の光がリビングからキッチンへと抜けていく設計。

TABLE HOUSE

MUKU | 床:国産赤松
DATA | 壁:国産赤松

カッコよすぎず、可愛すぎない。
ちょうどいいデザイン。

「カッコカワイイ男前」をコンセプトに明るく爽やかな空間を演出。



左/対面式のキッチン。手前には無垢の板を渡して
カウンターを設置。
本物の質感がアクセントとなり空間に彩を添える。

中/キッチンは効率的な動線と多くの収納が配置され
毎日の暮らしを快適にしている。

右/ダイニングに座るとリビングとキッチンにつながって
家族がどこにいても気配を感じられるようになっています。



リビングの一角には棚のある仕切りを設け
書斎コーナーに。



片流れの白い箱に、赤茶のガルバリウム鋼板を
横張りにした四角を組み合わせた外観。
ビッグスワンが眺められることから
西向きの2階リビングに。



正面の壁は、100年以上使われていた古材(リクレイムウッド)のジャラ。
重ねてきた時間の重みは、床に張ったクルパウの高級な重厚感と拮抗し、つり合い
きりりとした空気感を生んでいる。左手の窓からはビッグスワンが眺められる。

ジャラの壁

MUKU | 床 : クルパウ
DATA | 天井: チーク

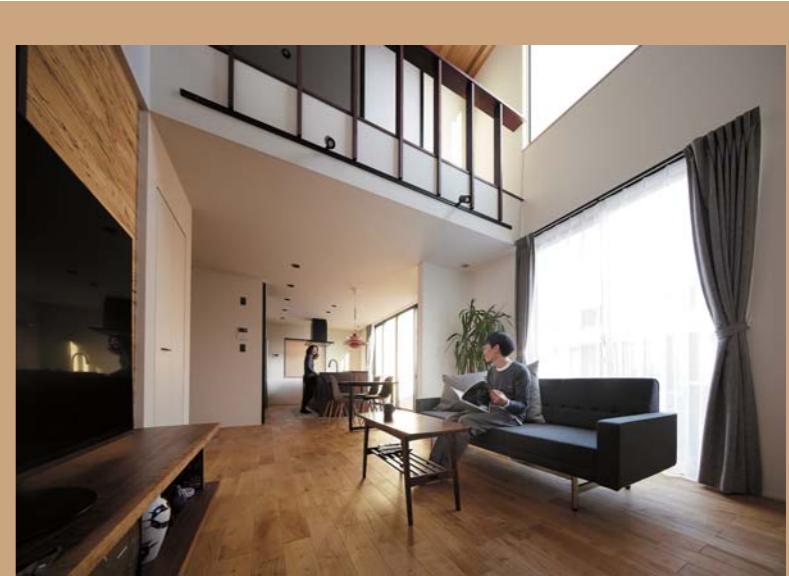
物語のある木を組み合わせた重厚な家。
床はクルパウ、壁はオーストラリアの羊毛工場の床として使われていたジャラ。
100年以上、人の営みを支えてきた歴史とその重みに敬意を表すように
新潟市長瀬のコンセプトハウスは「ジャラの壁」と名づけました。



床・壁・天井、キッチンの壁。多種多様な木材を
使っているがうまく調和させている。



ダイニングテーブルは木材をミックスして製作。
自然に敬意を払い「木の端まで使い切る」のが
稻垣建築事務所の流儀。無塗装とは思えない
色の幅に目が留まる。



趣味の箱

MUKU | 床 :クリ・パープルハート・タガヤサン
DATA | 天井:ウェスタンレッドシダー

スキップフロアをつなぐ吹き抜けのリビング
「建てるなら吹き抜けのある家」
「置きたい家具も決まっている」
集めたものと個性的な木を配した住まいは内装も含めて「趣味の箱」だ。





リビングにRCの壁を立てることで、部屋と通路をゆるやかに仕切っている。



「リビングに寝転がれるところが欲しい」と畳の空間をリクエスト。壁には板を渡し機として活用できるようにした。床の上では椅子で、畳空間では座って使える机。



キッチンとリビングを遮る壁は雑誌を飾れるニッチになっている。ニッチ内部の壁紙の色をオレンジにしてちょっとしたアクセントに。



RCの壁、サペリの床と天井、ウォールナットの家具など素材の色が調和したリビングルーム。一角にあるキッチンに立てば、部屋全体が見渡せる。



玄関を入ると、サペリの壁・床・天井がまっすぐにリビングまで続く。建具は吊り戸にし無垢の床をフラットにつなげている。

調和する住まい

MUKU | 床 : サペリ
DATA | 天井: サペリ

リビングにRCの壁。室内に突如現れたクールな素材は濃色の無垢の木と調和して「特別」な部屋を作り上げている。



RCの壁は通路部分とつながりながらも目線を遮る高さに。建具は、壁と一体化するよう、天井ぎりぎりの高さに設定。



梁はリビングにはあえて出さないようにして
キッチンとは雰囲気を変えている。



左/キッチンの床にはイタリア産のタイルを採用。作業台はオリジナルで製作。

右/窓際のダイニングスペース。
天井に張ったレッドシダーが
リビングとダイニングをつないでいる。



リビングとダイニングがキッチンをL字型に囲む2階LDK。キッチンの前に設けられた壁によって
リビングとキッチンが一体感がありつつ適度に離れ、絶妙な距離感を生み出している。

景色のある暮らし

MUKU | 床 :ヨーロピアンオーク
DATA | 天井:ウェスタンレッドシダー・チーク

眺めとともに、光に包まれて暮らす。

「明るい家で、眺めを楽しみながら暮らしたい」二人の願いに応えた2階リビングの住まいは
LDKがそれぞれ、絶妙な距離感を持ちながら隅々まで光にあふれている。



リビングの延長には広々としたデッキ。
スチールの手すりは景色を邪魔しないように薄く仕上げている。



左/当初からご主人が希望していた「大人の隠れ家」
ロフトは、リビングの上に。
漫画などが収納できる棚を作成。

右/ロフトからリビングを見下ろす。
外への眺めだけでなくロフトからの眺めも楽しめる。



右側には大きな窓。TV裏の外壁材。
左手小上がり和室は花柄のクロスとレッドシダーの天井。様々な素材が調和し優しい空間に。



ダイニングの横に勉強もできるカウンターを設け家族のコミュニケーションが豊かになる設計。



キッチンとダイニングを一直線に、リビングと小上がりの和室を手間にまとめ
◎ 大きくひとつながりになったLDK。左手、天井は端材でつくった寄せ木張りとし
その下には斜めにステンレスプレースを配して構造体力とデザインを両立。

akuriとmamaの家

MUKU | 床 : ピーカン
DATA | 天井: 寄せ木張り・ウェスタンレッドシダー

無垢の木、外壁材、ステンレス。
大きくひとつながりになった住まいにはさまざまな素材が融け合い
きりりとした空気感を生んでいる。



LDKからつながる小上がりの和室は
自然の彩を持つ無垢材と植物模様のクロス
が引き立て合い、和モダンな空間に仕立てている。



左/LDK窓際の天井には寄せ木張り。
色・表情が違う無垢の木と凹凸が
空間のアクセントになっている。

右/玄関に本来は外壁に使われる素材を使用。
無垢の木と調和して
優しい空気感を生み出している。

INAGAKI IZM

thanks,natural posture.

<https://www.inagaki-architect.com>
株式会社 稲垣建築事務所
〒940-2106 新潟県長岡市古正寺 2-14
0800-800-7335



WEB



© MUKU DATA



YouTube